

「水で生きる」090626

水と生態系と地域社会

※講義のパワーポイント資料のうち、清野自身の撮影や研究用図面など著作権処理が特に不要なスライドを掲載します。今後、著作権処理などが進めば、改訂版をUPすることもあります。

清野聡子

(東京大学大学院 総合文化研究科)

「資源」とは何か？

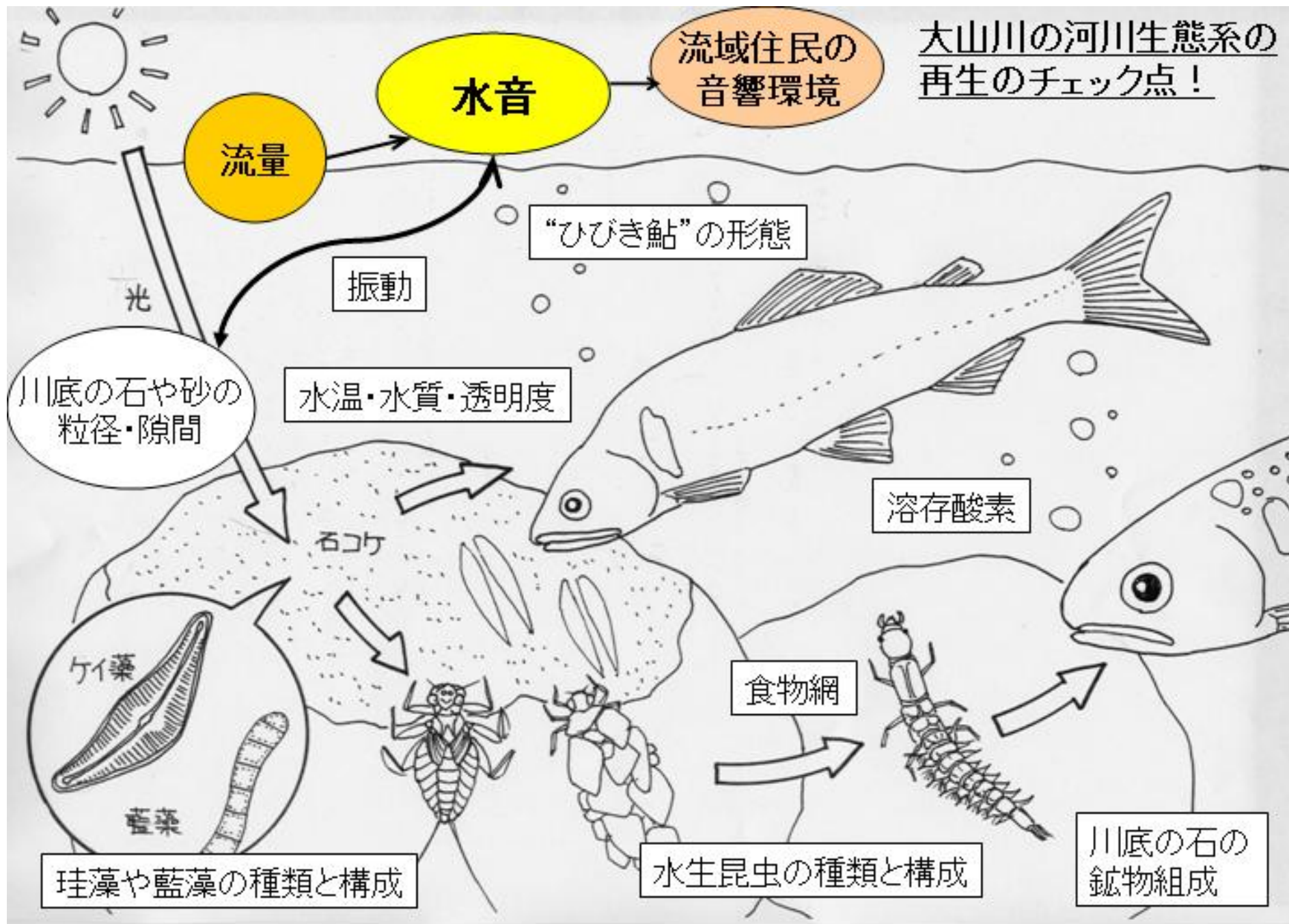
- 「自然資源」は誰のためか？が国内外で見直されている。
- 共有物の水、生物資源は、生産地の「地域」を大切にすべしとの国際世論。「生物多様性条約」における「自然資源の配分」
- 近代化、戦後復興、経済発展、開発で資源を分け合って利益を得た全員が、「再配分」の責任と義務がある。

事例

筑後川上流 大分県日田市
大山川
流域の里山



大山川の河川生態系の再生のチェック点！















参考：現在の 響かなくなっていたひびき溪谷



流域の森林は、薪を採るための雑木林で入合地も多かったが、戦後に特にスギの植林が進んだ。森林の地主は、大山町ではまだ在住者が多い。

河川流量が激減していた













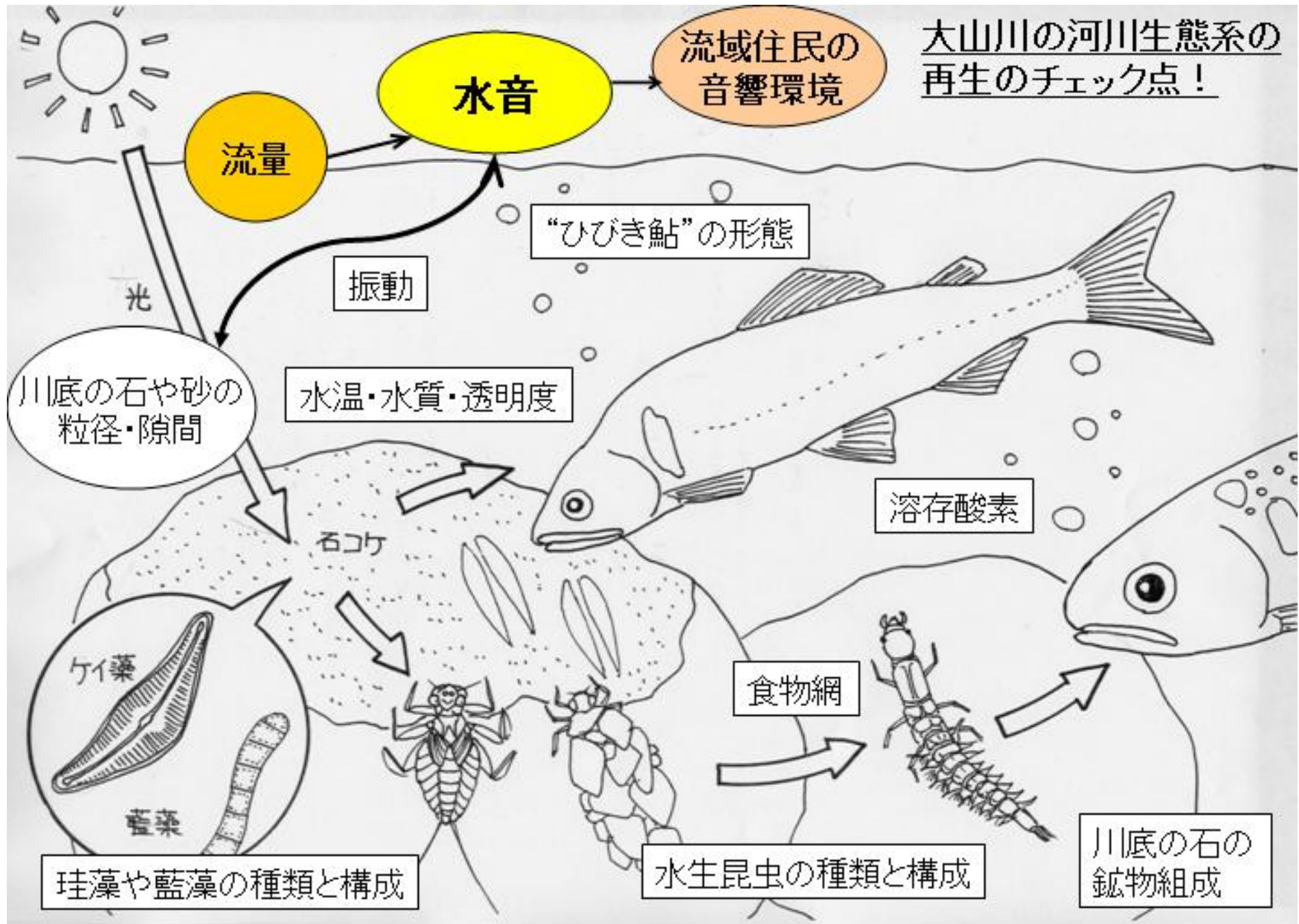




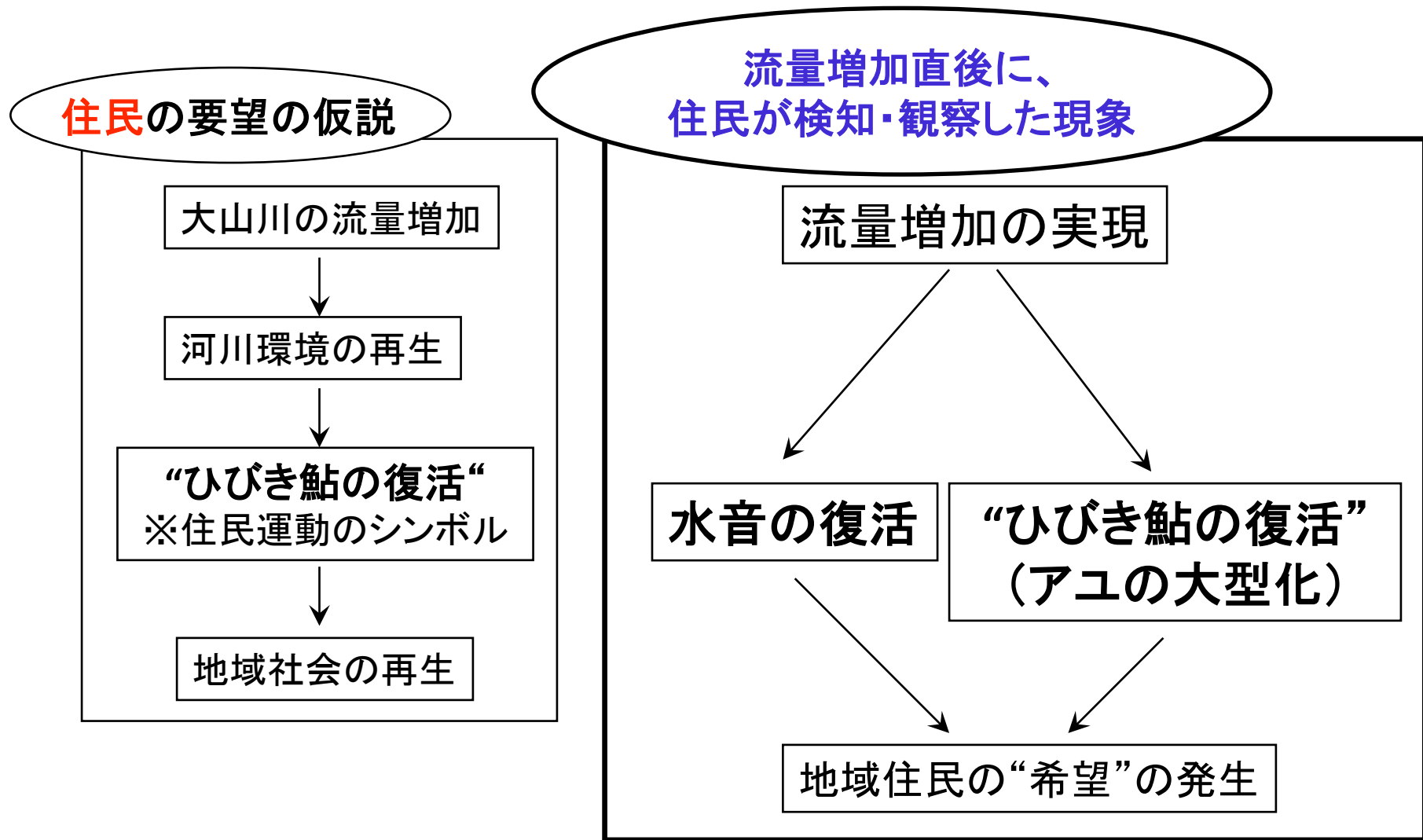




大山川の河川生態系の再生のチェック点！

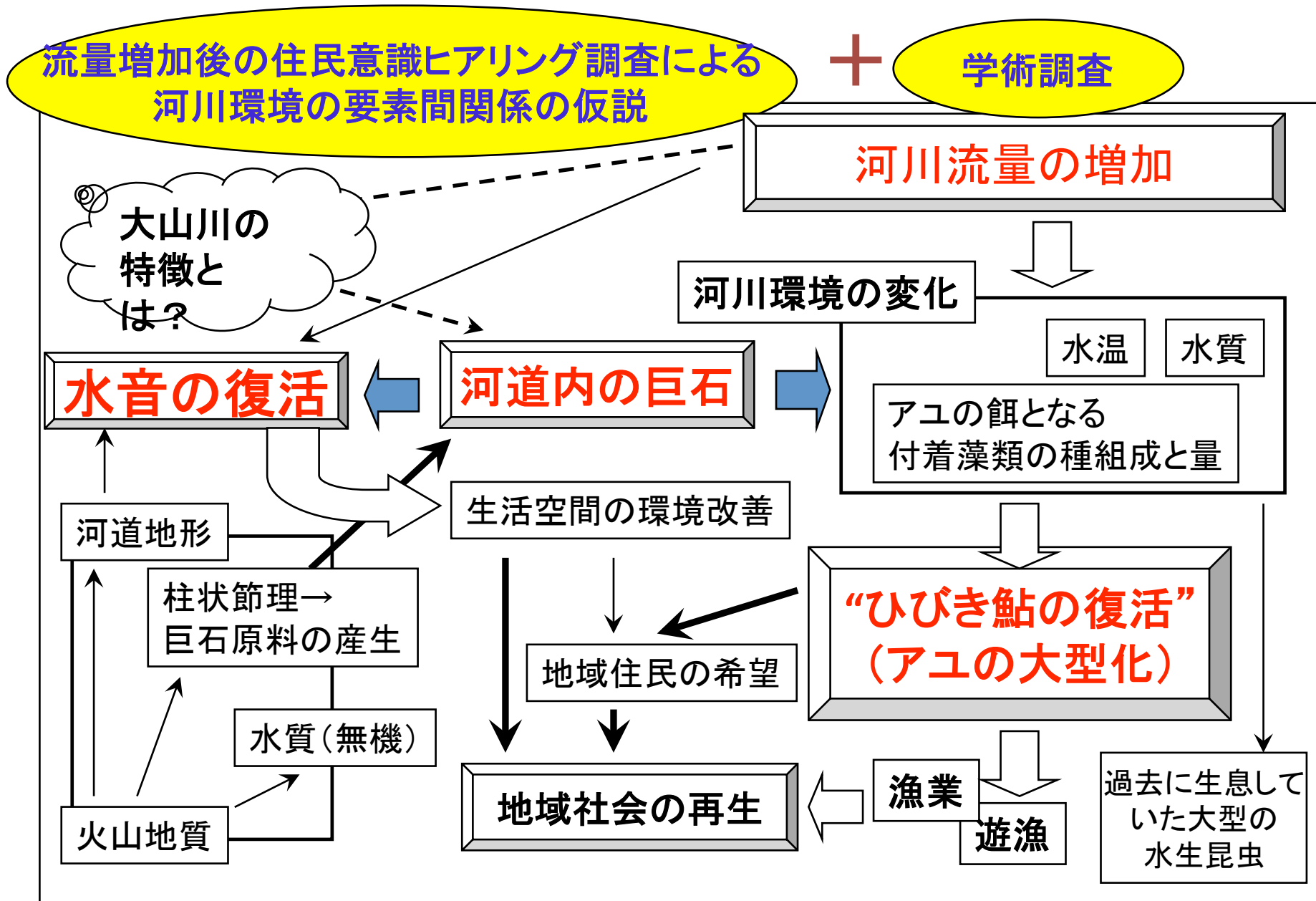


大山川の流量増加による河川環境再生は「**仮説検証**」型！



出典：清野聡子ほか (2006) 筑後川上流大山川における住民の地域知と河川環境再生研究での作業仮説形成, 第34回環境システム研究論文発表会講演集, pp. 231-238

流域住民＋研究者による河川環境再生の仮説の構築

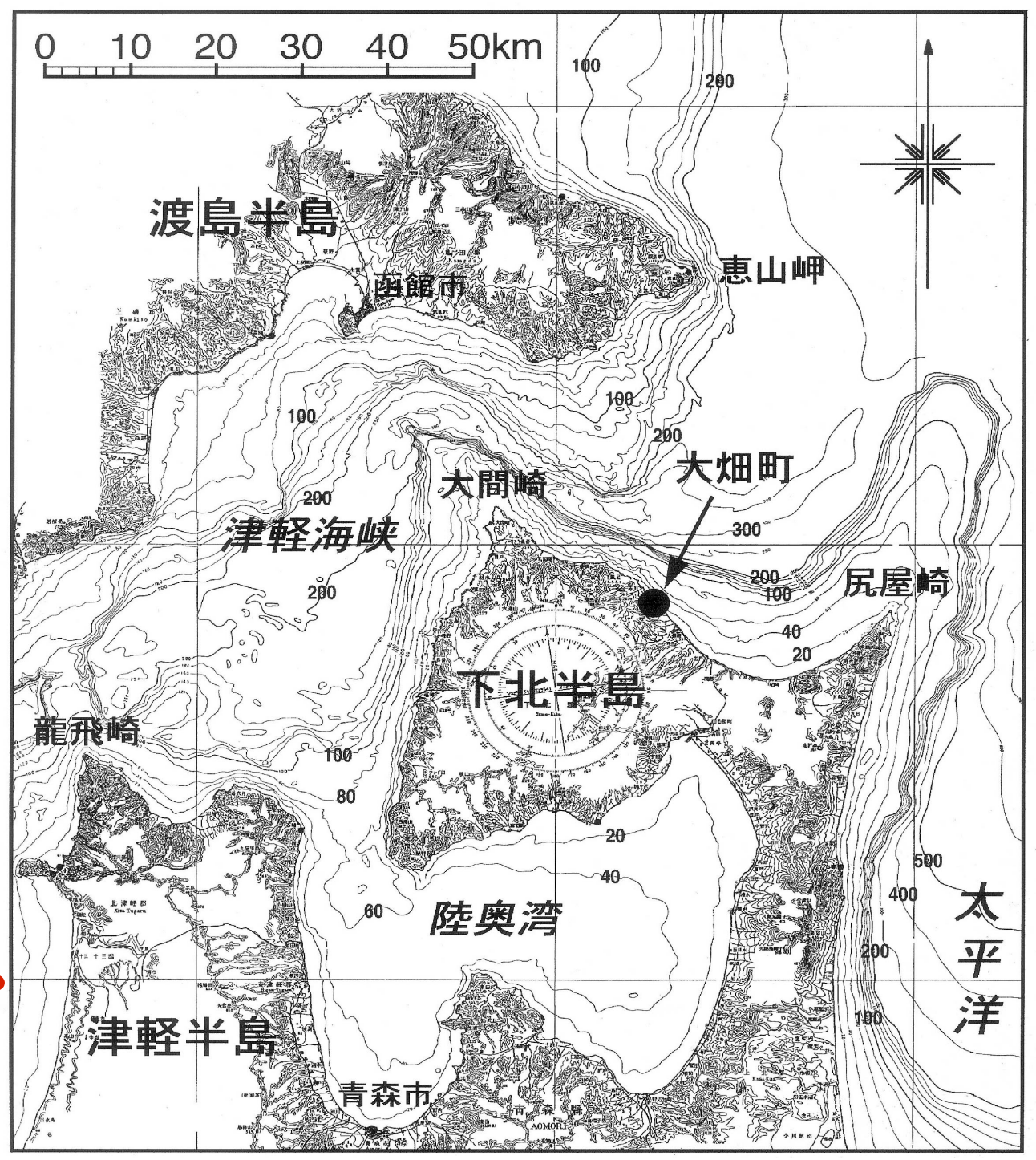


事例 青森県
下北半島
津軽海峡

大畑町
大畑川流域

地域活動
↓
自然再生
↓
流域管理
↓
環境守人

自然共生とは何か？
人工構造物
の在り方の見直し





県条例の “環境守人”制度

※地域知の地域施策への
具体的展開

大畑町での流域や海岸の
住民参加の活動



地域政策への反映、制度化
(青森県ふるさとの森川海の
保全および創造に関する条例)



第1号保全地域の指定



モニタリング、検証、提言





☆土木学会
デザイン賞 2006
最優秀賞
☆グッドデザイン 金賞
(経済産業大臣賞)

海岸事業が“受賞作品”に！

・海や空や生物の状態によって
時々刻々と変わる景観

・地域住民の知恵や技術
地域知と普遍知の関係

・そして自然共生する
地域とは？

